

県立宮崎病院プロジェクト

プロジェクトの基本情報	プロジェクト名称	県立宮崎病院プロジェクト
	所在地	宮崎県宮崎市北高松町5-30
	完了時期	2021年9月
	種別1	新築
	種別2	非住宅建築
CM業務委託者に関する情報	CM業務委託者名	宮崎県病院局
	CM業務委託者の所在地	宮崎県宮崎市北高松町5-30
応募者に関する情報	応募者(法人)名	株式会社プラスPM
	種別	CM専門会社
	応募者(法人)の所在地	東京都千代田区鍛冶町1-7-11 KCAビル
CMRの参画時期	業務契約期間	2017年8月～2021年9月30日 実施設計段階、工事発注段階、工事段階
CMRの選定方法		プロポーザル
設計と施工の発注形式		設計・施工分離
設計者の選定方法		プロポーザル
工事の発注区分		分離発注
請負契約の形式		単価数量積算方式
施工者の選定方法		総合評価



新病院 外観

プロジェクトの概要

宮崎県全県における中核病院の建設事業、再始動と実現

- 基本構想段階での建設事業予算**185億円**が、基本設計終了時**316億円**に増加。議会で**予算化が見送られた**。
- CM参画による事業費削減は必須ながら、全県レベルの中核病院としての医療機能・患者本位の療養環境を実現。

県立宮崎病院は、宮崎県全県レベルでの中核病院

基本構想完成時(平成25年) 県立宮崎病院実績

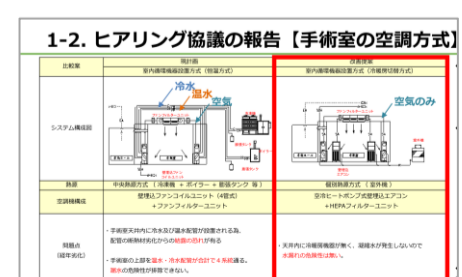
- 入院：延約14.5万人/年
- 外来：延約15.9万人/年
- 分娩：557件/年
- 救急：6,492件/年
- 手術：8,436件/年
- 移植：腎臓60件/26年
- 造血幹細胞83件/25年
- 治験：19件/年

プロジェクトの目標設定	業務目標と業務スコープの設定	プロジェクト目標、業務目標の達成
<p>1 宮崎県全県を対象とした中核病院にふさわしい病院建物の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院機能を全県の中核病院にふさわしいものとするを最優先の目標とした。 最新の診療環境と患者の療養環境に加え、スタッフの労働環境にも配慮した病院の実現。 地域住民の医療環境を向上させる。 	<p>高い防災性と医療環境を有した病院建築の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 予算は厳しい状況だが、基本的な防災機能は変更検討の対象としない。 従前の議論を踏まえた設計変更案を提案し、発注者の意思決定を支援。 同規模・同機能な病院のデータから基本設計内容を比較評価し分析。 	<p>宮崎県全県の中核病院にふさわしい医療環境と高い防災性病院建物の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 全県の中核病院としてふさわしい高度医療環境を有した病院建築を実現した。 高い対災害性能と浸水対策を実現した。 充実した診療空間・労働環境を実現した。
<p>2 新たな新棟建設工事費目標 225億円の達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 議会にて基本設計完了時点の事業費316億円から46億円を削減し、新たな事業費は270億円となり、新棟の建設費目標は225億円となった。 CMRIは46億円を削減し、建設費225億円の達成を目標とした。 	<p>LCC(ライフサイクルコスト)を考慮した46億円のコスト削減</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計内容を精査し、医療機能を保持したまま縮小できる部分を抽出、面積削減を目指した。 医療機能を維持しつつLCCを削減できる変更可能な仕様の抽出とコスト削減を目指した。 ES(エネルギーサービス)事業の導入を検討、LCCの削減を目指した。 	<p>46億円のコスト削減の実現と更なる予備費の確保を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 工事発注完了時点で予備費8億円を設定できた。 施工中に、新型コロナウイルスの感染急増時の対応に伴う施設整備の追加、療養環境の向上に伴う変更など、病院機能を向上させる設計変更を行い約7.3億円の追加工事となったが、当初予算から約8千万円の予備費を残し竣工した。
<p>3 地域経済の活性化への寄与</p> <ul style="list-style-type: none"> 2017年の宮崎県全体の建設業総生産は2,790億円。本病院建設の経済効果は非常に大きい。 地元企業への発注機会を最大化する発注の仕組みを構築することを目標とした。 	<p>地域経済に寄与する発注方法の検討と実行</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域企業への発注機会を高める分離発注方式の導入、総合評価落札方式による地元企業参画に対する評価を目指した。 一方で、当時九州では常に建設投資が旺盛だったため、入札参加企業の把握するため、市場調査を業務スコープとして設定した。 	<p>地域経済の活性化に寄与する工事発注を実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 6社の地元建設会社を含むJVが落札。 地元建設会社の参画を促すだけでなく、地元建設関連企業への発注等で、地域経済への高い波及効果があった。
<p>4 当初の整備工程(平成33年度中頃の開院)から大きく遅れない工程計画の立案と実行</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害対策・狭隘化による医療提供機能低下・建物老朽化による不具合の多発から緊急性が高く、事業再始動時工程目標の平成33年12月の開院を目標とした。 	<p>消費増税の回避と平成33年9月竣工、12月開院</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業スケジュールの遅延により、消費増税の指定日である2019年4月1日が近づいてきており、3月31日以前の工事契約という目標を追加した。 	<p>当初の整備工程から事業中止時期を経て定められた事業工程を達成</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな事業工程の目標である令和3年9月竣工を達成。 増税前に発注・工事請負契約の締結を実現。

○全体面積に対する部門別面積構成比(%)

機能区分	床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積	延床面積
平均値	508	102.3	37.1	69.9	38.2	8.6	14.9	13.8	12.2	14.1
平均値	80.8	28.7	53.9	35.4	8.3	15.2	13.1	10.1	17.7	
平均との差		21.6	8.3	16.1	0.8	0.3	-0.3	0.7	2.1	-3.6

※部門別面積分析ではデータベースとの比較のため、以下の部門を省いています。
・保腎所
平均値は400-650床の病院データから算出しています。



	代表構成員	第2構成員	第3構成員
建築主体	全国	宮崎	宮崎
建設電気	全国	九州	宮崎
建設空調	全国	宮崎	宮崎
建設管	全国	九州	宮崎
昇降機	全国		
ES事業	全国		

